

一ヶ月ほどの winter break も終わり、今月から UIUC(University of Illinois Urbana-Champaign)での春学期が始まった。今回は今学期履修している科目などを主に報告する。

## 天候

雪が降り始め、いよいよ本格的な冬に入った。月末にはかなりの雪も積もり、少々通学に支障をきたすようになった。しかしそれ以上に大変なのは気温の低下である。日中は-10~-15℃位であるが、朝8時では-20℃を下回っていることもまれではない。まさに凍て付く以上の寒さである。週の内三日はこの朝8時から講義があるため、通学には辛い寒さである。

## 講義

先に述べたように、今月から新学期が開始した。今学期履修登録した科目は以下のとおりである。合計4科目で総単位は12hoursである。

- 1) ESL114 (Introduction to Academic Writing for Undergrad Students)
- 2) TAM152 (Engineering Mechanics 1 statics)
- 3) EALC150 (Introduction to Japanese Culture)
- 4) ME393 (Special Problems)

当初は ME170 (Computer-Aided Design)を履修する予定だったが、オンラインで履修申し込みができなかった。そこで、Engineering の教務課で履修の申請をお願いしたが、履修の許可は降りなかった。Non-degree Students は受講できないことになっているとのこと。ME170 は一般の講義とは違い、コンピュータを用いて講義が進められる。コンピュータの台数に制限があるためか、聴講だけというのも無理であった。

### <ESL114>

先学期に履修した ESL113 の上位科目。Academic writing の作成能力向上のための科目である。先学期の間に同じ科目を履修した友人から、writing の課題が多く大変であるということを知っていたが、実際受講してみるとやはりなかなか大変そうである。

講義中は毎回宿題として与えられた reading の内容を discussion し、その内容に関する writing を作成する。まだ1週間しか受講してないが、講義の進み方はこのような具合であり、先学期の ESL113 とはまったく違ったスタイルである。ESL113 は基本的に各自が書いた writing を教授に提出し、教授と1対1で話し合うといったことに重きを置いていた。最低限の writing の課題はあったが、それ以外の writing の提出は生徒の自主性による。そのため、悪い言い方をすれば、怠けて楽をしやすい科目であった。しかし、この ESL114 では講義中は discussion が主体になっているため、まだ英語力の足りない私にとっては大変な講義である。また、writing の課題の量も ESL113 のときより多いので、先学期以上に頑張る必要がありそうだ。

### <TAM152>

この科目は静力学の科目である。通常 PHYCS111 (General physics (Mechanics))を履修した生徒が履修する科目である。元々先学期に履修する予定であったが、ME393 を追加履修したために履修を取り消した。しかし、教材は既に購入してあることと、もう一度力学の基礎を押さえるという理由から今学期に履修することにした。

講義スタイルは他の一般的な科目とそう大差ない。週3回の lecture class に週1回の discussion

class で構成される。宿題はほぼ毎回与えられ、授業開始前に提出しなければならない。先学期のはじめに3週間ほどこの科目を受講していた様子は分かっていたのだが、今学期は講師が違うために先学期よりも課題の総量は少ない。これは嬉しい点である。

#### <EALC150>

この科目は日本の文化についての講義を行う科目である。アメリカ人から見た日本像をみるのも面白いと思い、この科目を履修することにした。講師である Ruppert 教授はもちろんアメリカ人なのだが、日本人の妻を持っており、日本語が非常に達者な人である。科目の内容は基本的に教授による講義で、ときどき 日本の映画を上映したりする。最初は日本における宗教の話から始まり、宮廷社会、武士社会そして近代社会へと講義は進んでいく予定である。

ここ UIUC では、これまで英語の科目である ESL を除き、工学部の科目しかとってこなかったもので、これが私にとって初めての文科系の講義になる。工学部の科目は数式という万国共通の言葉みたいものがあるので、講師の話していることが少々理解できなくても大きな問題にはならない事が多い。しかし、この科目ではそういうわけにはいかず、また reading や essay といった課題も多いので非常に大変である。

#### <ME393>

先学期に引き続き今学期も ME393 と履修することになった。winter break の間に Miller 教授と春学期での活動方針について話し合った。その際何をしたいかということを知られた。先学期に取り組んだ内容と違うものにもできるが、先学期の間に完成させた試験機を用いての試験を行うまでには至らなかったこともあり、今学期も同じテーマ(Tire Testing)に取り組むことにした。

先学期は Tony という大学院生と組んで作業を進めていたが、教授の話によると今学期は ME280 の学生と組むことになるそうである。FSAE 関連の科目には ME199 (Fresh man & Sophomore)、ME280 (Junior & Senior)、ME393(Senior & Graduate Students)がある。ME199 は基本的に講義と ME280 のプレゼンテーションを聞くのが主な内容であり、学期末にレポートを一つ提出しなければならない。それに対し ME280 と ME393 は一種の Design Project なのだが、ME393 には講義はなく、教授との週1回のミーティングだけで、あとは各々が作業を進めて最終的には Final Report を提出するだけである。しかし、ME280 は3~4人のグループで作業を行い、定期的に作業の進捗状況のプレゼンテーションを行わなくてはならない。ME280 の学生たちと組むということは私もそれに参加することになる可能性もあり、communication ability が問われ訳で、かなり不安である。

#### その他

私の UIUC での最後の学期となる春学期がいよいよ始まった。先学期より大変な科目もあるので、気を引き締めて取り組むつもりである。

以上